

英語教育強化地域拠点事業

群馬県版  
小学校英語教育  
カリキュラム案

E-チャレンジ  
(評価資料)

群馬県教育委員会

群馬県総合教育センター

カリキュラム開発チーム

※本PDF版に、音声教材は含まれていません。

# E-チャレンジ（評価モデル資料）を活用する前に

## 1 E-チャレンジ（評価モデル資料）について

- ・単元の最後で、「まとめ」として扱うことができます。
- ・単元で慣れ親しんだ表現をもとに活動に取り組み、児童の見取り資料の一つとして活用できます。
- ・児童がテストとして認識するものではなく、楽しく取り組めるように作成しています。
- ・児童一人一人を支援するものとして扱うことができます。
- ・児童の実態に合わせて、やり方を変更したりして活用できます。
- ・データ内の『E-チャレンジ（評価モデル資料）一覧』<Excel ファイル>は、「言語材料」「活動名」「Hi, friends!との関連」「カリキュラムとの関連」に分類して表示しています。『E-チャレンジ（評価モデル資料）一覧』の「言語材料」「活動名」をクリックすると、その活動のフォルダを開くことができます。また、E-チャレンジ用音声教材の番号をクリックすると、その活動の音声データを開くことができます。

## 2 E-チャレンジ用音声教材について

- ・学級担任が単独で指導する場合は、E-チャレンジ用音声教材を活用することができます。
- ・音声教材にはスクリプトがあります。（シートタグ参照）
- ・フォルダ【E-チャレンジ用音声教材】を開くと『E-チャレンジ用音声教材スクリプト』<Excel ファイル>および、【E-チャレンジ用音声教材Ⅰ】と【E-チャレンジ用音声教材Ⅱ】に分けて音声収録されています。（Ⅰ…「5年生対応」、Ⅱ…「6年生対応」）
- ・パソコンで『E-チャレンジ用音声教材スクリプト』を開き、トラック番号をクリックするとその活動の音声が流れます。なお、トラック番号はそれぞれ1番から割り振ってあります。
- ・音声はデータ形式で保存されています（パソコンで聞くことができます）ので、CD プレーヤーなどで再生するためには、音楽データとして改めて保存する必要があります。

### <注意>

\*データを全て HDD 等に保存してからご使用になる場合、フォルダ名やファイル名を変更してしまうと、クリックしても正しく開けなくなるおそれがあります。ご注意ください。

## E-チャレンジ(評価モデル資料)一覧

言語材料	活動名	Hi, friends!との関連	カリキュラムとの関連	音声教材
<a href="#">How are you?</a>	<a href="#">どのようにあいさつをすればいいかな? I</a>	1-L1 1-L2	5-01	なし
<a href="#">Do you like red?</a>	<a href="#">好きなものをたずねよう!</a>	1-L4	5-02	なし
<a href="#">What time is it?</a>	<a href="#">リアクション予想ゲーム</a>	2-L6	5-03	I <a href="#">1</a> <a href="#">2</a> <a href="#">3</a> <a href="#">4</a>
<a href="#">When is your birthday?</a>	<a href="#">ミッションライン</a>	2-L2	5-04	なし
<a href="#">Where do you want to go?</a>	<a href="#">どこへ行こう?</a>	2-L5	5-05	I <a href="#">5</a> <a href="#">6</a> <a href="#">7</a> <a href="#">8</a>
<a href="#">What sport do you like?</a>	<a href="#">先生の好きなもの予想クイズ</a>	1-L4 1-L5	5-06	I <a href="#">9</a> <a href="#">10</a> <a href="#">11</a>
<a href="#">What alphabet do you have?</a>	<a href="#">持っている文字を当ててみよう</a>	2-L1	5-07	I <a href="#">12</a> <a href="#">13</a> <a href="#">14</a> <a href="#">15</a> <a href="#">16</a>
<a href="#">If I had a pet, ... He is too fast.</a>	<a href="#">マイペットボンゴ</a>	2-L7	5-08	I <a href="#">17</a> <a href="#">18</a> <a href="#">19</a> <a href="#">20</a>
<a href="#">What would you like?</a>	<a href="#">何を注文したのかな?</a>	1-L9	5-09	I <a href="#">21</a> <a href="#">22</a> <a href="#">23</a> <a href="#">24</a>
<a href="#">What vegetable do you like?</a>	<a href="#">どんなユニークピザかな?</a>	1-L5 1-L9	5-10	I <a href="#">25</a> <a href="#">26</a> <a href="#">27</a> <a href="#">28</a> <a href="#">29</a> <a href="#">30</a>
<a href="#">Happy Holidays. Happy New Year.</a>	<a href="#">グリーティングカードを作ろう(なぞり書き)</a>	なし	5-11	なし
<a href="#">What do you study?</a>	<a href="#">一緒に勉強しようよ!</a>	1-L8	5-12	なし
<a href="#">How many pencils?</a>	<a href="#">英語で数えてみよう!</a>	1-L3	5-13	I <a href="#">31</a> <a href="#">32</a> <a href="#">33</a>
<a href="#">Where do you want to go?</a>	<a href="#">先生たちの春休み</a>	2-L5	5-14	I <a href="#">34</a> <a href="#">35</a> <a href="#">36</a> <a href="#">37</a>
<a href="#">How are you?</a>	<a href="#">どのようにあいさつをすればいいかな? II</a>	1-L1 1-L2	6-01	なし
<a href="#">Do you play soccer?</a>	<a href="#">Let's インタビュー!</a>	2-L3 2-L6	6-02	II <a href="#">1</a> <a href="#">2</a> <a href="#">3</a>
<a href="#">I can swim.</a>	<a href="#">先生とできることが同じ人はだれかな?</a>	2-L3	6-03	II <a href="#">4</a> <a href="#">5</a> <a href="#">6</a>
<a href="#">How much?</a>	<a href="#">ぐんまちゃんショップへようこそ</a>	1-L6	6-04	II <a href="#">7</a> <a href="#">8</a> <a href="#">9</a> <a href="#">10</a>
<a href="#">What time do you get up?</a>	<a href="#">〇〇先生の日</a>	2-L6	6-05	II <a href="#">11</a> <a href="#">12</a> <a href="#">13</a> <a href="#">14</a>
<a href="#">Where is the school?</a>	<a href="#">どこへ行くのかな?</a>	2-L4	6-06	II <a href="#">15</a> <a href="#">16</a> <a href="#">17</a>
<a href="#">Where do you want to go?</a>	<a href="#">先生におすすめの国を紹介しよう</a>	2-L3 2-L5	6-07	なし
<a href="#">He was too big.</a>	<a href="#">絵さがしクイズ</a>	2-L7	6-08	II <a href="#">18</a> <a href="#">19</a> <a href="#">20</a>
<a href="#">What subject do you study?</a>	<a href="#">先生の中学校紹介</a>	1-L8 1-L9	6-09	II <a href="#">21</a> <a href="#">22</a> <a href="#">23</a> <a href="#">24</a>
<a href="#">Happy Holidays. Happy New Year.</a>	<a href="#">グリーティングカードを作ろう(書き写し)</a>	なし	6-10	なし
<a href="#">What do you want to be?</a>	<a href="#">ぐんまちゃんの夢は何?</a>	2-L8	6-11	II <a href="#">25</a> <a href="#">26</a> <a href="#">27</a> <a href="#">28</a>
<a href="#">My favorite place is the library.</a>	<a href="#">DAKARA迷路</a>	なし	6-12	II <a href="#">29</a> <a href="#">30</a> <a href="#">31</a> <a href="#">32</a>
<a href="#">Thank you.</a>	<a href="#">ありがとうの気持ち</a>	なし	6-13	なし



No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

# どのようにあいさつをすればいいかな？



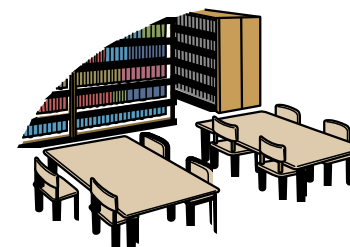
## 教室

教室でベッキー（Becky）に会いました。  
笑顔であいさつをしよう。



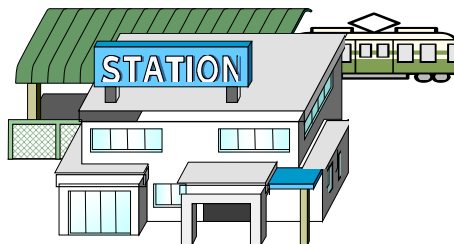
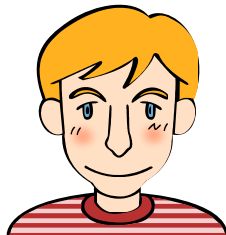
## 図書館

図書館でベッキーのお母さんに会いました。  
静かに優しくあいさつをしよう。



## 駅

駅でベッキーのお父さんに会いました。  
人ごみに負けずに大きな声であいさつをしよう。



## 公園でランニング後

公園でランニング後にベッキーの弟に会いました。  
息を切らしながらもあいさつをしよう。



## E-チャレンジ活用例

活動名	どのようにあいさつをすればいいかな？	言語材料	How are you? I'm <u>OK</u> . My name is <u>Sakura</u> . I like <u>baseball</u> . Nice to meet you.
-----	--------------------	------	--

準備物 E-チャレンジ（資料①）

☆どのようにあいさつをすればいいかな？

【評価の観点：コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

どのようにあいさつをすればいいかな？の手順（資料①）

- ① ワークシート（資料①）を配り、ワークシートに書かれた場面や状況を考えて、どのようにあいさつをすればいいのか考えるように伝える。
- ② T1 と T2 で、ワークシートに書かれた各場面や状況を考えて例に従って手本を示す。  
例 *S: Hello.*  
*T: Hello.*  
*S: How are you?*  
*T: I'm happy, thank you. And you?*  
*S: I'm good, thank you.*
- ③ 学級を6グループ程度に分け、T1 と T2 は順に各グループのところへ行き、一人ずつカード（資料①）をひき、カードに書かれた場面や状況を考えて例のように児童とあいさつをする。
- ④ T1 または T2 が他のグループのところに行っているときは、グループ内で協力して場面や状況を考えたり、互いに練習し合ったりするように伝える。

\*あらかじめカードは切り離しておく。

\*ワークシート（資料①）を編集することもできる。

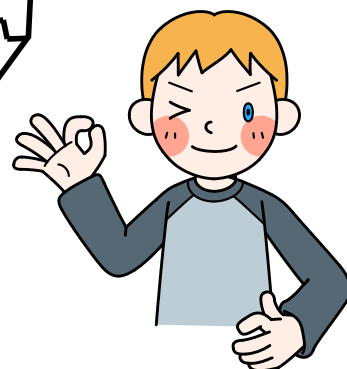
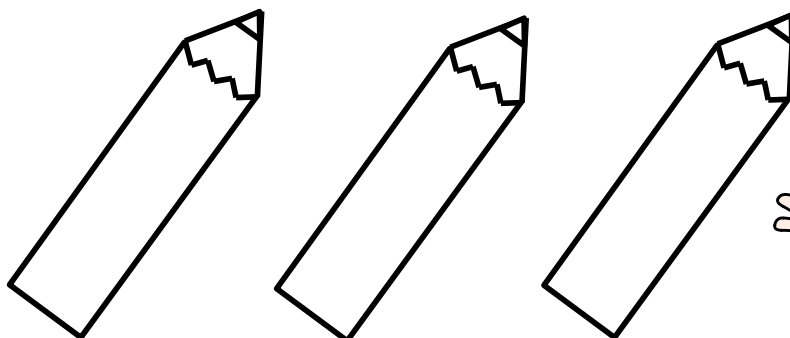
\*音量や速さなど、場面や状況に応じて言い方を変えることができるように支援する。



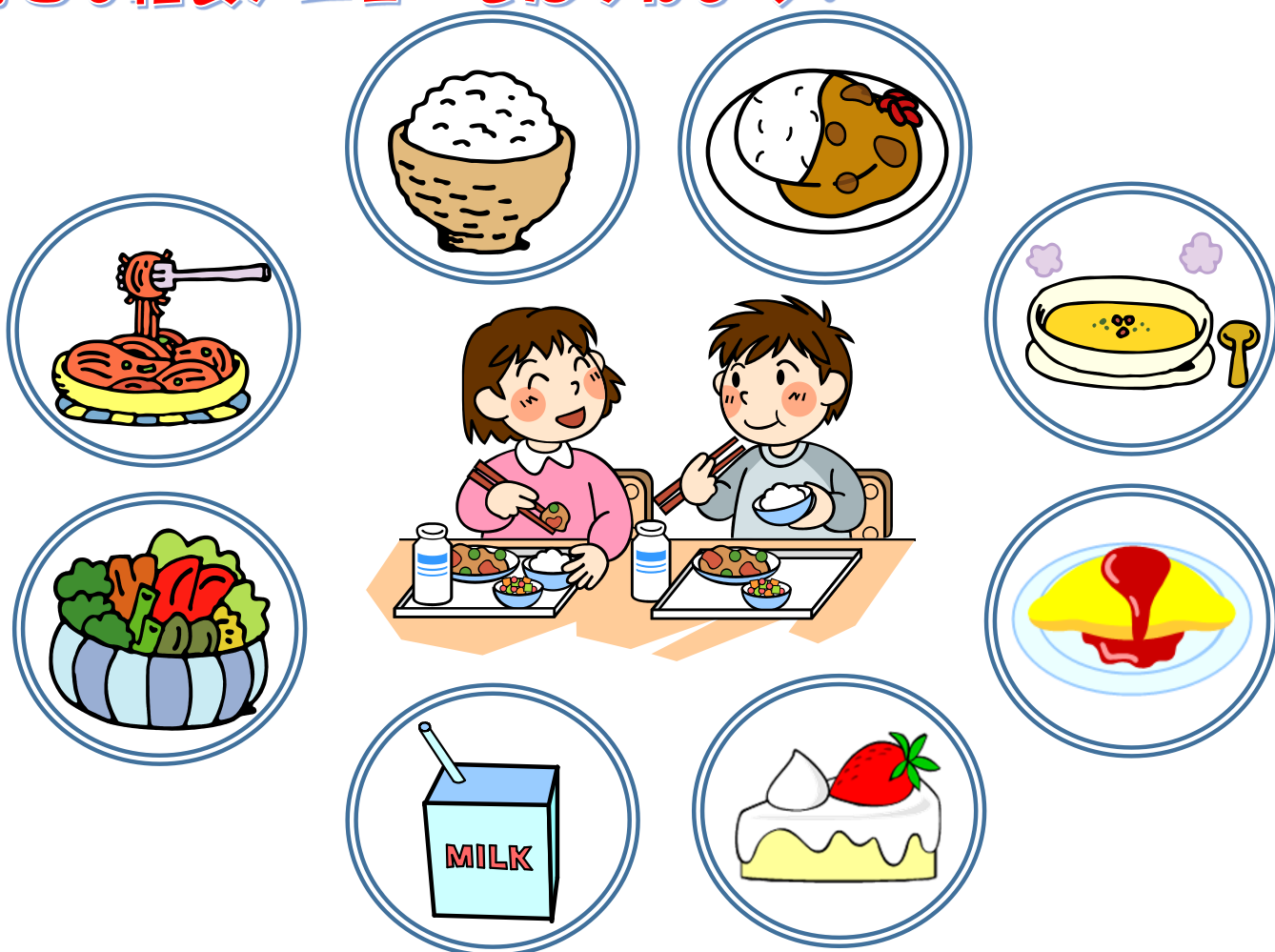
# 好きなものをたずねよう！

No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

## 好きな色をたずねよう！



## 好きな給食メニューをたずねよう！



## 好きなものが伝わっているかな？



## E-チャレンジ活用例

活動名	好きなものをたずねよう！	言語材料	I like <u>curry and rice</u> . Do you like <u>curry and rice</u> ? Yes, I do. / No, I don't. I don't like <u>curry and rice</u> .
準備物	色のカード、E-チャレンジ（資料①）		

☆好きなものをたずねよう！

【評価の観点：外国語を表現する力】

## 「好きなものをたずねよう！」の手順（資料①）

- ① 「好きな色をたずねよう！」では、色のカードを黒板に貼り、T2の後に続いて色を表す言葉を言うように伝える。
- ② 黒板に貼ってある色の中から自分の好きな色を3つ選び、その後ペアで好きな色を予想して尋ね合って、相手が好きな色でワークシートの色鉛筆の絵を塗るように伝える。  
例 *S1: Do you like red?*  
*S2: Yes, I do. I like red. / No, I don't. I don't like red.*
- ③ 「好きな給食メニューをたずねよう！」では、T2の後に続いて、絵が表す言葉を言うように伝える。
- ④ ペアで好きな給食メニューを1つずつ尋ね合い、相手が好きな給食メニューの絵の○を色鉛筆で囲むように伝える。  
例 *S1: Do you like rice?*  
*S2: Yes, I do. I like rice. / No, I don't. I don't like rice.*
- ⑤ 「好きなものが伝わっているかな？」ではペアでワークシートを交換し、相手のワークシートの顔のマークに色をつけるように伝える。

\*①では、黒板に貼る色のカードは、児童になじみのある色を選んで貼るようにする。

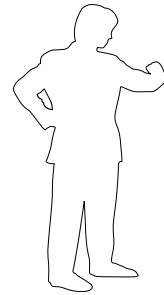
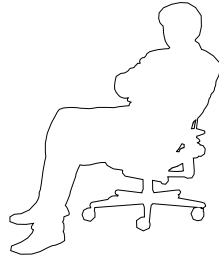
\*③では、T1は絵を提示できるように工夫するとよい。

\*T1とT2は、机間支援しながら児童の取組の様子を見取るようにする。



No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

## リアクション予想クイズ

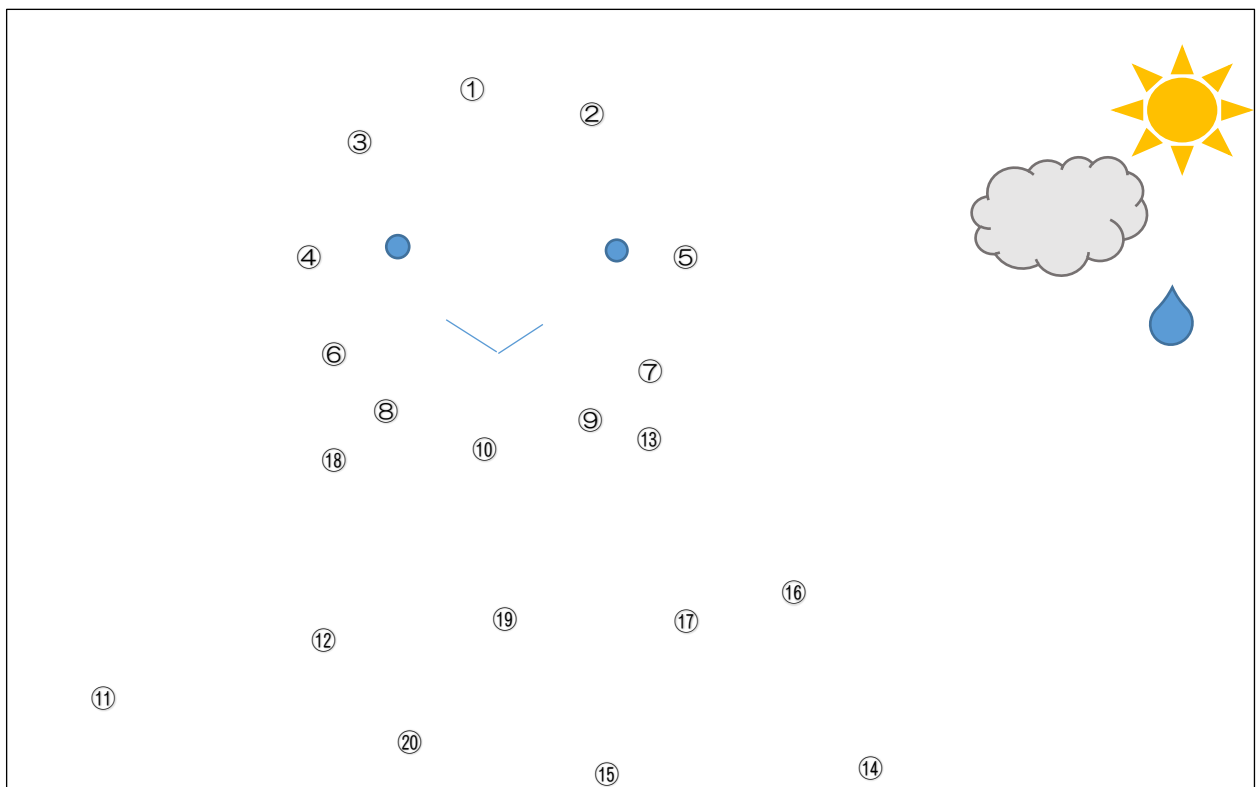


**言えるかな？** ~となりの人と一緒に1~30まで英語で教えてみよう！~

数えられたら、マークを○で囲んでね。



## 何ができるかな？





## ☆「リアクション予想クイズ」の会話例

<リアクション予想クイズ>

T1：ALTの（ ）先生が話しかけたら、どんな反応をするだろう。イラストを○で囲んでね。

T2：What time is it?

<何ができるかな？>

先生が言う数字を順に線で結ぼう。

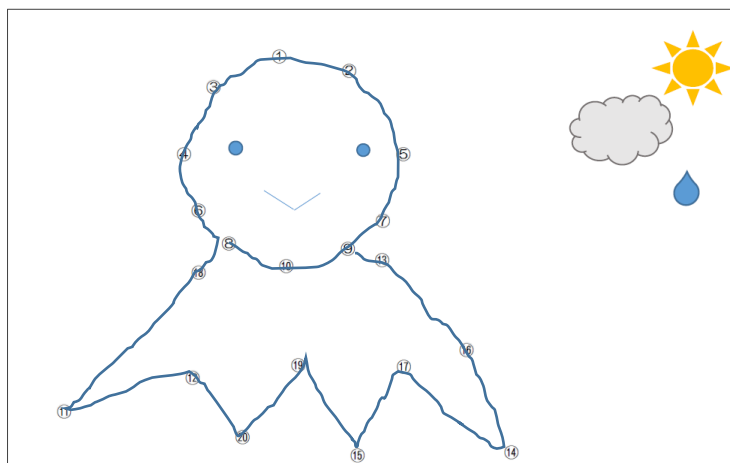
eight → ten → nine → seven → five → two → one → three → four →  
six → eight → eighteen → eleven → twelve → twenty → nineteen →  
fifteen → seventeen → fourteen → sixteen → thirteen → nine

<答え>

### リアクション予想クイズ



### 何ができるかな？



## E-チャレンジ活用例

活動名	リアクション予想クイズ	言語材料	What time is it in <u>New York</u> ? It's <u>four a.m.</u>
準備物	E-チャレンジ（資料①）		

## ☆リアクション予想クイズ

【評価の観点：外国語を表現する力】

## リアクション予想クイズの手順（資料①）

- ① ワークシート（資料①）を児童に配る。
- ② 「リアクション予想クイズ」では、T2 の言う質問を聞き、3つの絵のうち一番ふさわしい反応を示したものはどれかを○で囲むように伝える。
- ③ 「言えるかな？」では、隣の児童と一緒に1～30まで英語で数え、言えたかどうか自己評価し、言えたらマークを○で囲むように伝える。
- ④ 「何ができるかな？」では、T2 が言う数字を線で結ぶように伝える。
- ⑤ 答えを確認する。

\*ワークシート（資料①）を編集することもできる。

\*学級担任が単独で指導する場合は、E-チャレンジ用音声教材 I（①～④）を活用することもできる。

## E-チャレンジ活用例

単元名	誕生日を尋ねよう	言語材料	When is your birthday? My birthday is <u>March</u> <u>eighteenth</u> .
準備物	なし		

## ☆ミッションライン

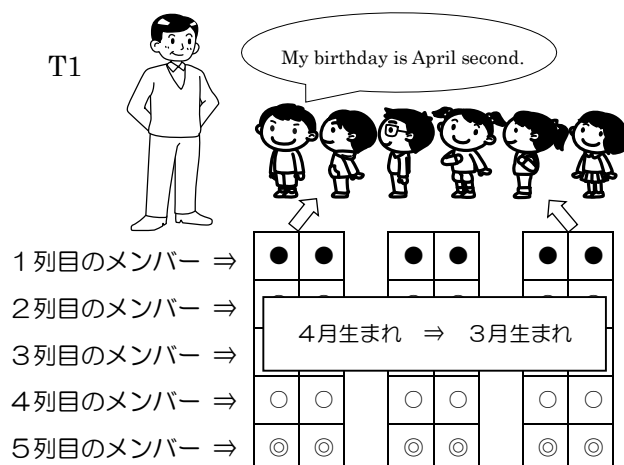
【評価の観点：外国語を表現する力】

## ミッションラインの手順

- ① 月の絵カードを黒板に掲示し、T2の後に月の言い方を確認するように伝える。
- ② 横の列ごとに誕生日の順番で並び、できたところから自分の列の椅子に座るように伝える。
- ③ 1列目のメンバーが立ち上がり、誕生日の順番でT1のところへ行く。
- ④ T1と座っている児童がWhen is your birthday?といった後、T1に向かって、自分の誕生日を一人ずつ答えることを伝え、その誕生日を確認する。
- ⑤ ③と④をすべての列で行う。

\*②では、お互いにジェスチャーを交えながら英語で確認しながら、列を作り、下の図のように座るように伝える。

\*クラスの実態に応じて、誕生日が近い児童にHappy Birthdayを歌うなど、工夫するとよい。





No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_



どこへ行こう？



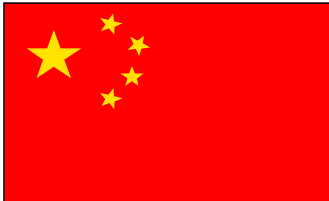
～パンフレットを見て考えています～



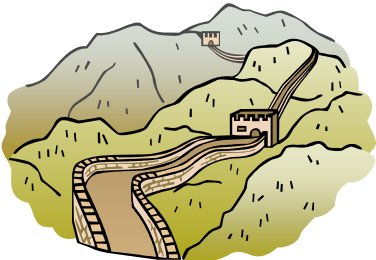



Australia








China



America






先生が行きたいのはどの国  
なのかな？  
□に○を入れてね！

あなたはこの 3 つの国  
だったらどこへ行きたい  
ですか？  
となりの人と話してみ  
よう！



## ☆「どこへ行こう？」の発話例

T2 が以下から 1 つを選んで言う。

- I want to see Ayers Rock. I want to eat steak. I want to see koalas and kangaroos. Nice country.
- I want to see the Great Wall, 万里の長城. I want to eat *ramen*, ラーメン. I want to see pandas. Nice country.
- I want to see the Statue of Liberty, 自由の女神. I want to eat hamburgers and French fries. I want to eat hot dogs. I want to see baseball games. Nice country.

児童が答えを選択した後で以下の会話をする。

T1: Where do you want to go?

T2: I want to go to Australia.

T1: OK. Let's go to Australia.

## E-チャレンジの活用例

活動名	どこへ行こう？	言語材料	Where do you want to go? I want to go to <u>Italy</u> . I want to eat <u>pizza</u> . I want to see <u>soccer games</u> .
-----	---------	------	---

準備物 E-チャレンジ（資料①）

☆どこへ行こう？

【評価の観点：外国語を理解する力】

**どこへ行こう？の手順** （資料①）

- ① ワークシート（資料①）を児童に配る。
- ② T1 と T2 が旅行のパンフレットを見て旅行先を考えているという状況を伝える。
- ③ T2 が発話例のうちの一つを選んで言うのを聞き、T2 がどこの国へ行きたいのか考えて口に○を記入するよう児童に伝える。
- ④ T1 と T2 がやり取りをして、答えを確認する。

\*④の後で、児童が行きたい国についてペアで尋ね合う時間を設けるとよい。

\*ワークシート（資料①）を編集することもできる。


\*学級担任が単独で指導する場合は、E-チャレンジ用音声教材 I（⑤～⑧）を活用することもできる。




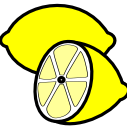
















# 先生の好きなもの予想クイズ

資料①

— No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_


準備: \_\_\_\_\_ 先生の好きなものを予想し、好きだと思う  の☆を  
塗っておこう。(先生の好きなものは4つあるよ!)

先生が実際に好きなものの絵を○で囲もう。いくつ予想が当たるかな？

		
予想 	予想 	予想 
		
予想 	予想 	予想 
		
予想 	予想 	予想 



予想が当たっていた数 (            )

当たった数	<b>4</b>		先生の好みはもうバッチリだね。これからは果物や動物、スポーツ以外の好みもわかるように、英語で質問していいね！
	<b>1 ~ 3</b>		だいぶ先生の好みを知っているね。もっと先生のことを知るために、これからも英語で何が好きなのかを聞いてみよう。
	<b>0</b>		ちょっと外れちゃったね。先生のことをいろいろと知るために、これからも英語で先生の好きなものを質問してみよう。

## ☆「先生の好きなもの予想クイズ」の会話例

T1 : Do you like fruits ?

T2 : Yes, I do.

I like bananas. ( lemons / grapes )

T1 : Do you like cats?

T2 : Yes, I do. / No, I don't. I don't like cats.

T1 : Do you like dogs?

T2 : Yes, I do. / No, I don't. I don't like dogs.

T1 : Do you like spiders?

T2 : Yes, I do. / No, I don't. I don't like spiders.

T1 : What sport do you like ?

T2 : I like soccer. ( basketball / swimming )

\*好きな動物を2つ選んでください。



## E-チャレンジ活用例

単元名	好きなものを伝えよう	言語材料	I like <u>apples</u> . I don't like <u>apples</u> . Do you like <u>apples</u> ? Yes, I do. / I don't. What <u>fruit</u> do you like?
準備物	E-チャレンジ（資料①）		

## ☆先生の好きなもの予想クイズ

【評価の観点：外国語を理解する力】

## 先生の好きなもの予想クイズの手順

(資料①)

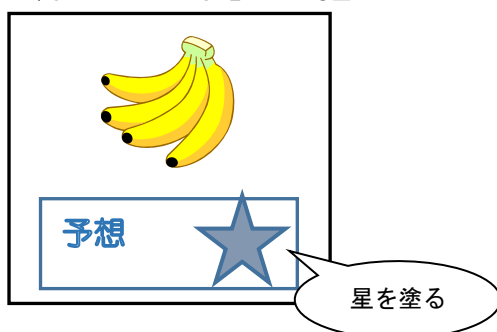
- ① ワークシートを児童に配る。
- ② T2 の先生の好きなものを4つ予想し、好きだと思うものの予想欄の☆を塗るように伝える。
- ③ T1 と T2 の会話を聞き、T2 の好きなものの絵を○で囲むように伝える。
- ④ 答えを確認する。
- ⑤ 予想が当たった数を記入させる。

\*あらかじめワークシート（資料①）の下線部に、T2 の先生の名前を入れておく。

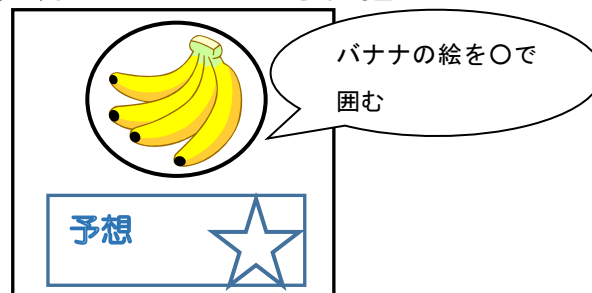
\*実態に応じて、ワークシート（資料①）を編集することもできる。

\*学級担任が単独で指導する場合は、E-チャレンジ用音声教材 I（⑨～⑪）を活用することもできる。

②の例：バナナを予想した場合



③の例：T2 がバナナを好きな場合

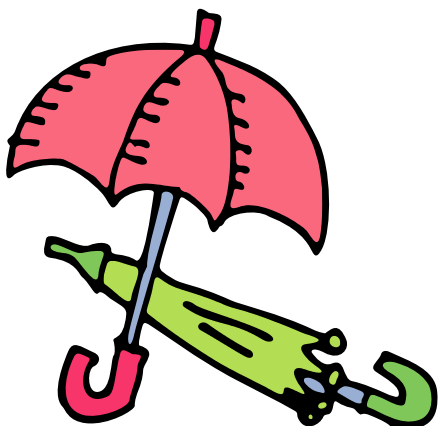




# 持っている文字を当ててみよう! 資料①

No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

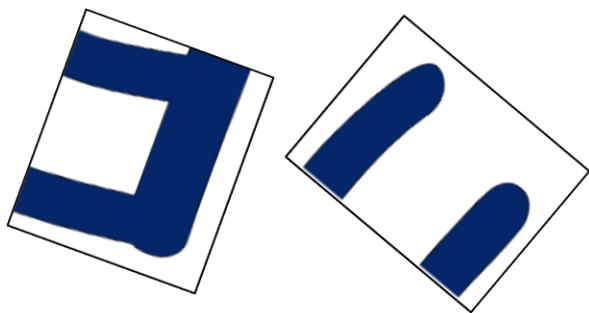
## めって、文字当てゲーム



スタート	A	B	ゴール
C	D	E	F
G	H	I	J
K	L	M	N
O	P	Q	R
S	T	U	V
W	X	Y	Z

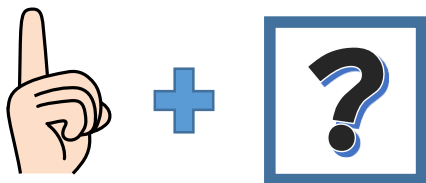


## パズルで、文字当てゲーム



## アルファベットジェスチャーゲーム

人差し指を伸ばしている状態で  
できるアルファベットは何があるか考えてみよう。



- A B C D E F G  
H I J K L M N  
O P Q R S T U  
V W X Y Z



## ☆「持っている文字を当ててみよう！」の会話例

### ぬって、文字当てゲーム

T2: I have C.

I have G.

I have K.

I have O.

I have S.

I have X.

I have Y.

I have V.

I have R.

I have N.

I have J.

I have F.

What alphabet? (U)

\* 児童がマスを塗る時間がとれるように、間をおいて言うようにしてください。

### パズルで、文字当てゲーム

T2: Do you have A?

T1: No, I don't.

T2: Do you have E?

T1: No, I don't.

T2: Do you have F?

T1: Yes, I do.

### アルファベットジェスチャー

T2: What alphabet do you have?

T1: I have P.

## E-チャレンジ活用例

単元名	何を持っているか聞いてみよう	言語材料	I have “ <u>A</u> ” . What alphabet do you have? Do you have “ <u>A</u> ” ? Yes, I do. / No, I don't.
準備物	E-チャレンジ (資料①)		

☆持っている文字を当ててみよう！ 【評価の観点：外国語を理解する力】

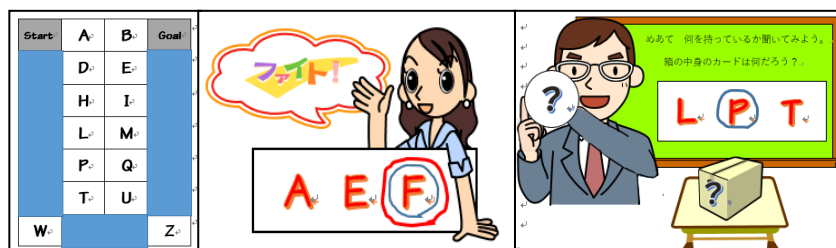
**持っている文字を当ててみよう！の手順** (資料①)

- ① 「ぬって、文字当てゲーム」では、スタートからゴールへと T2 が持っているアルファベットを言うのを聞いて、そのアルファベットのマスを塗るように伝える。
- ② 「パズルで、文字当てゲーム」では、3枚のカードで何のアルファベットができるかを予想し、そのアルファベットを鉛筆で○を囲んだ後、T1 と T2 の会話を聞いて、答えとなるアルファベットを色鉛筆で○を囲むように伝える。
- ③ 「アルファベットジェスチャーゲーム」では、A～Z を見ながら、人差し指を伸ばした状態で、もう片方の手と一緒にできるアルファベットを考えるように伝える。
- ④ T1 と T2 の会話を聞いて、答えとなるアルファベットを○で囲むように伝える。

\*③は必要であれば、A～Z まで書かれた場所に、ジェスチャーできるアルファベットを○で囲んでから取り組むこともできる。

\*学級担任が単独で指導する場合は、E-チャレンジ用音声教材 I (⑫～⑰) を活用することもできる。

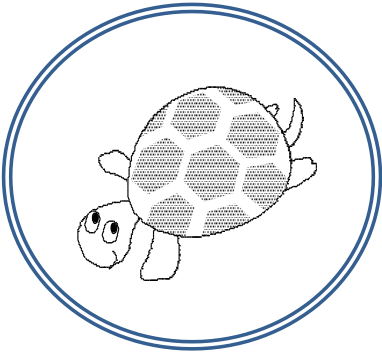
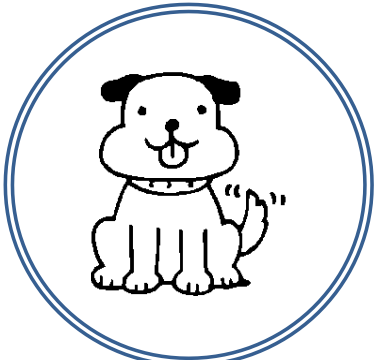
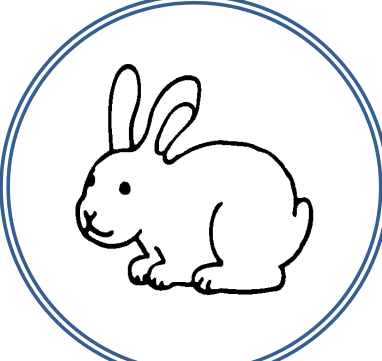
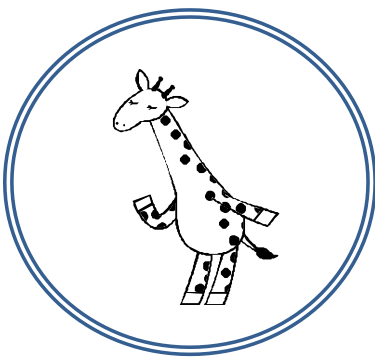
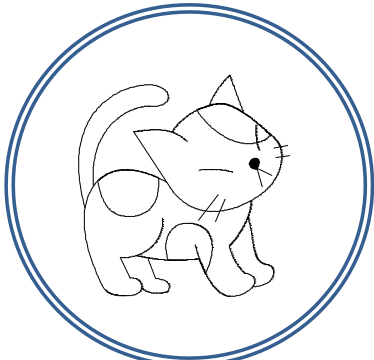
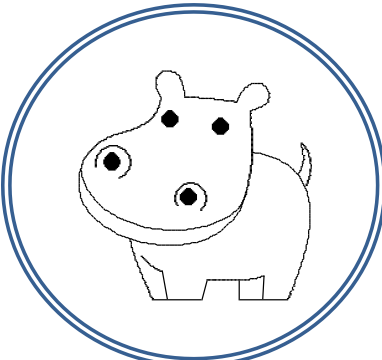
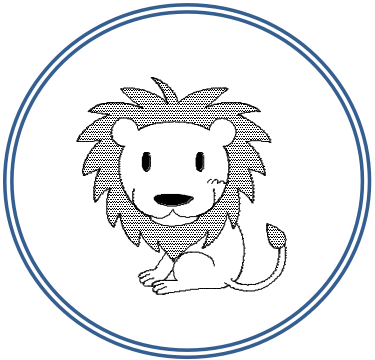
答え



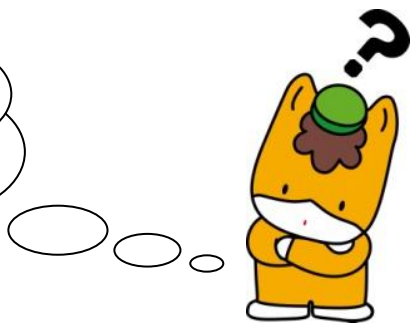


No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

# マイペットボンゴ



ボンゴゲームの後は、  
先生のペットを  
色えんぴつでぬろう！



## ☆「マイペットボンゴ」の発話例

T1: Let's play *My Pet* BONGO!

T2: If I had a pet, a lion as a pet,  
I'd take him for a walk every day.  
He is too scary!

T2: If I had a pet, a turtle as a pet,  
I'd take him for a walk every day.  
He is too slow!

T2: If I had a pet, a panda as a pet,  
I'd take him for a walk every day.  
He is too big!

T2: If I had a pet, a hippo as a pet,  
I'd take him for a walk every day.  
He is too heavy!

T2: If I had a pet, a giraffe as a pet,  
I'd take him for a walk every day.  
He is too tall!

T2: If I had a pet, a dog as a pet,  
I'd take him for a walk every day.  
Let's go for a walk.

### マイペットボンゴ終了後

T1:先生のペットを色鉛筆で塗ってください。

If I had pet, a cat, as a pet,  
I'd take him a walk every day.  
He is too cute.

## E-チャレンジ活用例

活動名	マイペットボンゴ	言語材料	If I had a pet, a dog as a pet, I'd take him for a walk every day. He is too <u>fast</u> .
準備物	E-チャレンジ（資料①）		

## ☆マイペットボンゴ

【評価の観点：外国語を理解する力】

## マイペットボンゴの手順（資料①）

- ① ワークシートとおはじき3個を児童に配る。
- ② 好きな動物を3つ選んでおはじきを置くように伝える。
- ③ T2は「マイペットボンゴ」の発話例を言う。
- ④ 児童は聞き取れた動物の枠を色鉛筆でなぞるように伝える。
- ⑤ おはじきがあればとり、3つとれたら「ボンゴ!」と大きな声で言うように伝える。

\*マイペットボンゴの前に絵本 *My Pet* を朗読し、十分内容を振り返ってから始めるとよい。

\*マイペットボンゴを終えたら、T1 が話すペットを聞き取り、色鉛筆でその動物の色を塗るように伝える

\*学級担任が単独で指導する場合は、E-チャレンジ用音声教材 I（⑰～⑳）を活用することもできる。



# 何を注文したのかな？

No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

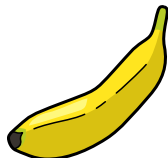
2人は何を注文したのかな？



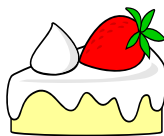
MENU



A



B



C



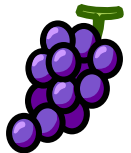
D



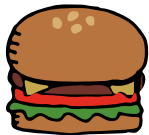
E



F



G



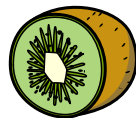
H



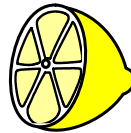
I



J



K



L



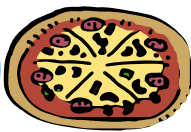
M



N



O



P



Q



R



S



T



U



V



W



X



Y

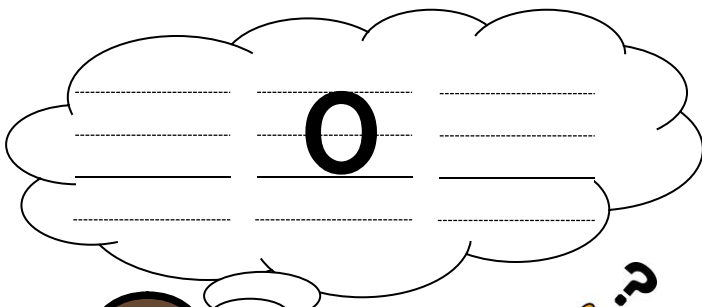


Z

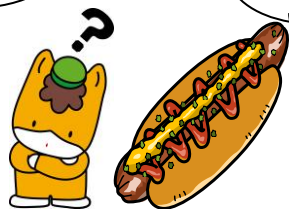
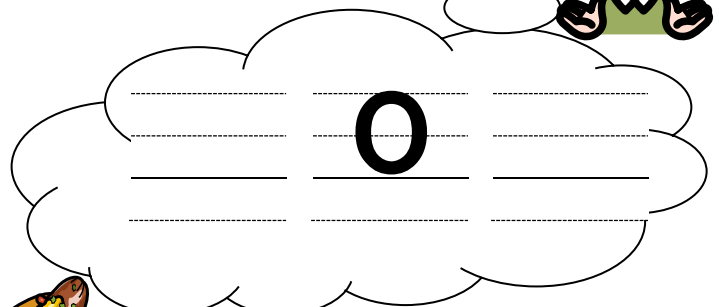
What would you like?



Taku



Sakura





# ☆「何を注文したのかな？」の会話例

## Sakura.

T1: Sakura, what would you like?

T2: I'd like a hamburger.

T1: OK, a hamburger?

T2: Yes, please.

T1: Sakura, what would you like?

T2: I'd like an omelet.

T1: OK, an omelet?

T2: Yes, please.

T1: Sakura, what would you like?

T2: I'd like tea.

T1: OK, tea?

T2: Yes, please.

## Taku, Sakura's friend.

T1: Taku, what would you like?

T2: I'd like a donut.

T1: OK, a donut?

T2: Yes, please.

T1: Taku, what would you like?

T2: I'd like an omelet.

T1: OK, an omelet?

T2: Yes, please.

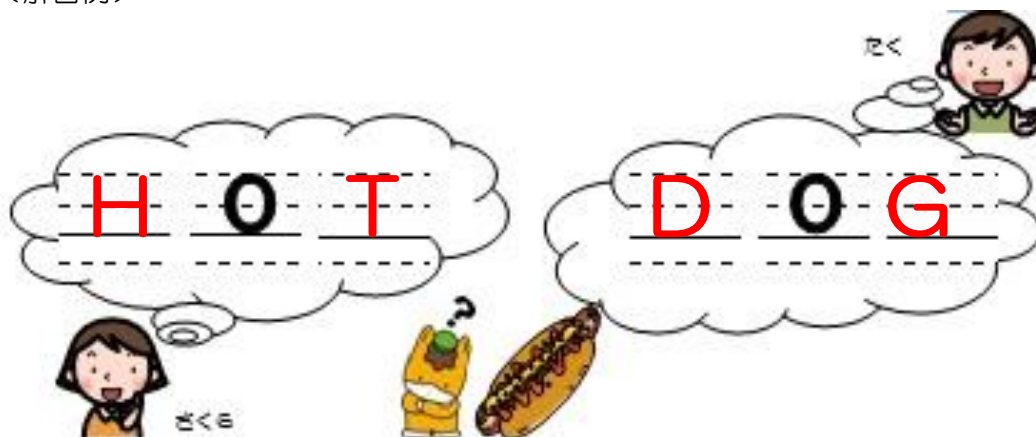
T1: Taku, what would you like?

T2: I'd like grapes.

T1: OK, grapes?

T2: Yes, please.

<解答例>



## E-チャレンジ活用例

活動名	何を注文したのかな？	言語材料	What would you like? I would like a <u>hamburger</u> .
-----	------------	------	---

準備物 E-チャレンジ（資料①）

☆何を注文したのかな？

【評価の観点：外国語で理解する力】

**何を注文したのかな？手順** （資料①）

- ① T1 が店員に、T2 がさくらとたくに扮して、T1 と T2 の会話から、それぞれの人が何を注文したのかを選んで、記号で書くように伝える。
- ② 答えを確認する。2人の答えを合わせると、“HOT DOG” になることを確認する。

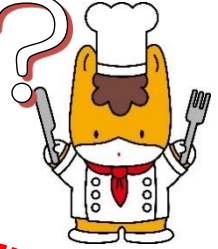
\*ワークシート（資料①）を編集することもできる。

\*学級担任が単独で指導する場合は、E-チャレンジ用音声教材 I（⑳～㉔）を活用することもできる。

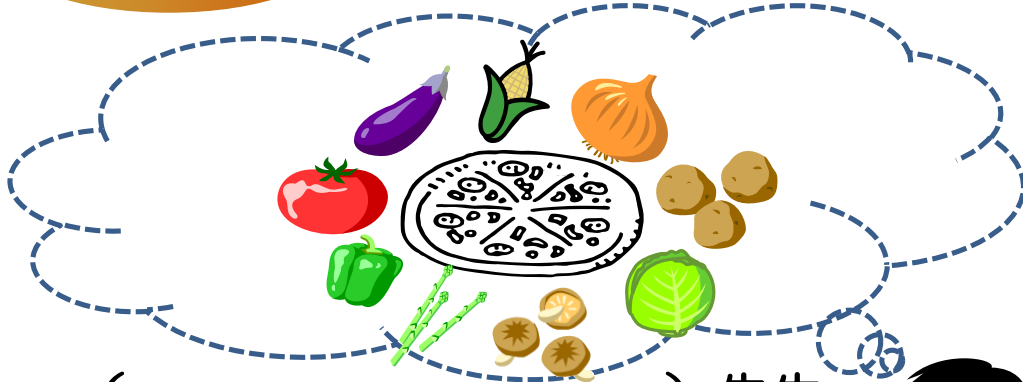
No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_



# どんなユニークピザかな？



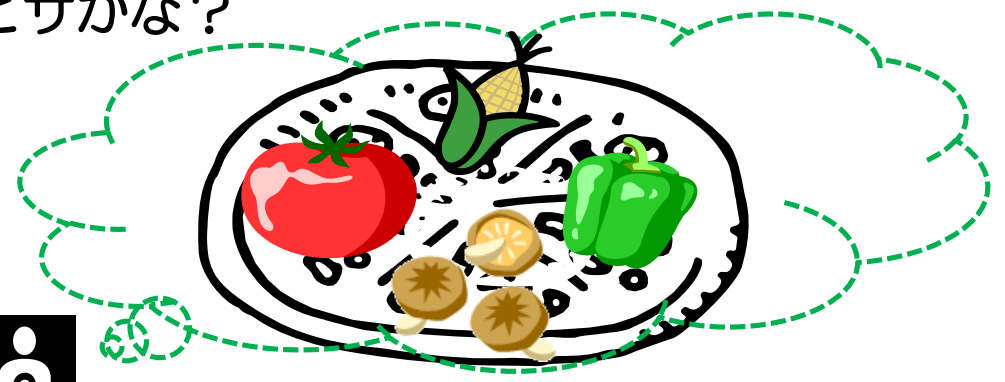
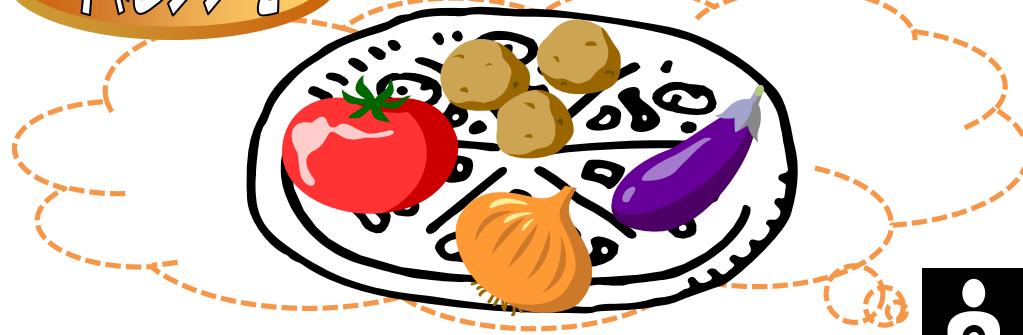
チャレンジ 1 先生の好きな野菜は何かな？



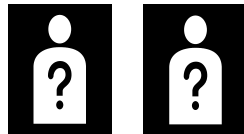
( \_\_\_\_\_ ) 先生  

( \_\_\_\_\_ ) 先生

チャレンジ 2 このピザは何先生のユニークピザかな？



\_\_\_\_\_ 先生



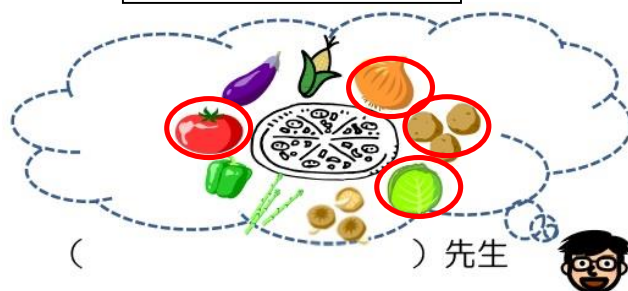
\_\_\_\_\_ 先生

# ☆「どんなユニークピザかな？」の会話例

## Challenge 1: 先生の好きな野菜は何かな? - ①

T2: Mr. Suzuki, what vegetable do you like?  
 T1: I like tomatoes.  
 T2: What vegetable do you like?  
 T1: I like potatoes.  
 T2: What vegetable do you like?  
 T1: I like onions.  
 T2: What vegetable do you like?  
 T1: I like cabbage.  
 T2: Good! (Great! / Me, too. / Oh, really? など)

### Challenge 1① 解答例



## Challenge 1: 先生の好きな野菜は何かな? - ②

T1: Ms. Sato, what vegetable do you like?  
 T2: I like eggplants.  
 T1: What vegetable do you like?  
 T2: I like corn.  
 T1: What vegetable do you like?  
 T2: I like asparagus.  
 T1: What vegetable do you like?  
 T2: I like onions.  
 T1: Great! (Good! / Me, too. / Oh, really? など)

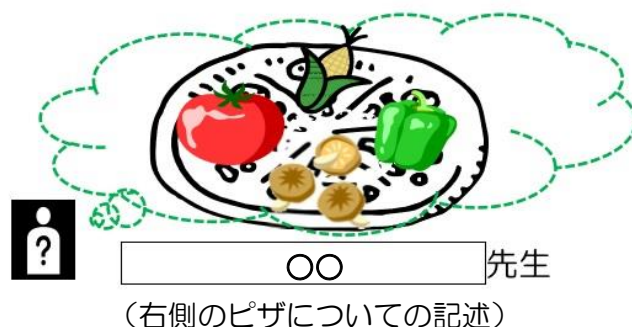
### Challenge 1② 解答例



## Challenge 2: このピザは何先生のユニークピザかな? - ①

T1: Ms. Kobayashi, let's eat lunch! Do you like pizza?  
 T2: Yes, I do.  
 T1: What vegetable do you like, Ms. Kobayashi?  
 T2: I like tomatoes.  
 T1: Me, too. What vegetable do you like?  
 T2: I like corn.  
 T1: Oh, really? What vegetable do you like?  
 T2: I like green peppers.  
 T1: Great! What vegetable do you like?  
 T2: I like mushrooms.  
 T1: I see. OK. Let's go, Ms. Kobayashi!

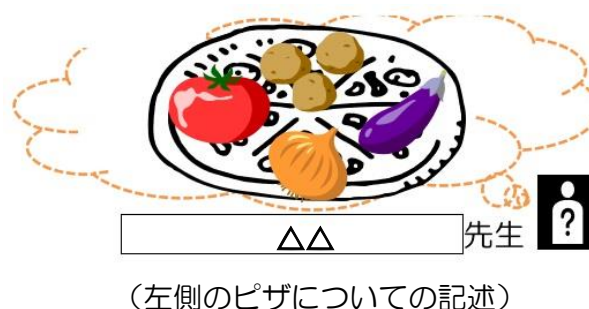
### Challenge 2① 解答例



## Challenge 2: このピザは何先生のユニークピザかな? - ②

T1: Let's eat lunch, Ms. Takahashi! Do you like pizza?  
 T2: Yes, I do.  
 T1: What vegetable do you like?  
 T2: I like tomatoes.  
 T1: Me, too. What vegetable do you like?  
 T2: I like potatoes.  
 T1: Oh, really? What vegetable do you like?  
 T2: I like eggplants.  
 T1: Great! What vegetable do you like?  
 T2: I like onions.  
 T1: I see. OK. Ms. Takahashi, let's go!

### Challenge 2② 解答例



## E-チャレンジ活用例

活動名	どんなユニークピザかな？	言語材料	What vegetable do you like? I like <u>tomatoes</u> .
-----	--------------	------	---

準備物 E-チャレンジ（資料①）

☆どんなユニークピザかな？

【評価の観点：外国語を理解する力】

**どんなユニークピザかな？の手順**

（資料①）

- ① ワークシートを児童に配る。
- ② T2は学校内の先生に扮する。「チャレンジ 1」は、T1とT2の会話から、その先生の好きな野菜の絵を○で囲むように伝える。
- ③ T1とT2は学校内の先生に扮する。「チャレンジ 2」は、T1とT2の会話から、その先生の名前を□書くように伝える。
- ④ 会話を繰り返し、先生の名前を確認する。

\*事前に、4名程度の校内の先生にユニークピザを聞いておく。

\*あらかじめワークシート（資料①）の1番の（ ）に、学校の先生の名前を入れておく。

\*ワークシート（資料①）を編集することもできる。

\*学級担任が単独で指導する場合は、E-チャレンジ用音声教材Ⅰ（⑳～㉔）を活用することもできる。




# ～グリーティングカードを作ろう～

資料①

1. なぞり書きをしよう。

— No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

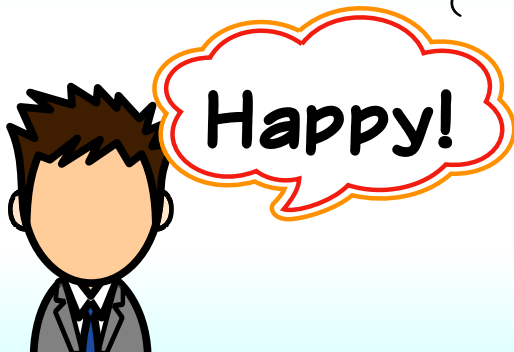
2. グリーティングカード作りの感想で気付いたことを書こう。



English クイズ

Happy!を表している表情はどれかな？

( ) に○を付けよう！



(       )

(       )

(       )



## E-チャレンジ活用例

単 元 名	グリーティングカード作りを 楽しもう	言 語 材 料	Happy Holidays. Happy New Year. Dear friends, Yours, 自分の名前
準備物	E-チャレンジ（資料①）		
<p>☆グリーティングカードを作ろう 【評価の観点：コミュニケーションへの関心・意欲・態度】</p> <div data-bbox="204 595 1433 819" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p><b>グリーティングカードを作ろうの手順</b> （資料①）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① ワークシートを児童に配る。</li> <li>② 1番に、なぞり書きをするように伝える。</li> <li>③ 2番に、グリーティングカード作りの感想で気付いたことを書くように伝える。</li> </ol> </div> <p>*E-チャレンジ（資料①）を編集することもできる。 *早く完成した児童には、English クイズに取り組みさせてもよい。</p>			





# 一緒に勉強しようよ!

資料①

No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_



【たく】

ほくは  
聞き取りやすい  
はやさで言う  
ようにしたよ!



【ひかる】

ほくは  
はっきりと言う  
ようにしてみた。

わたしは相手の  
目を見て言う  
ようにしたわ!

【あい】









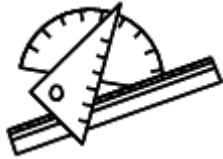



聞くときに  
うなずいたり  
あいづちをうったり  
してみたの。



【さくら】

## 何を勉強しようか?

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
science  理科	calligraphy  習字	Japanese  国語	home economics  家庭科	social studies  社会
P.E.  体育	English  英語	arts and craft  図工	math  算数	music  音楽



## E-チャレンジ活用例

活動名	一緒に勉強しようよ！	言語材料	I study <u>math</u> on <u>Tuesday</u> . What do you study on <u>Tuesday</u> ?
準備物	E-チャレンジ（資料①）		

☆一緒に勉強しようよ！

【評価の観点：外国語を表現する力】

## 一緒に勉強しようよ！の手順（資料①）

- ① たく・ひかる・あい・さくらの吹き出しのセリフを、声に出して一斉に読むように伝える。
- ② ワークシート（資料①）にある曜日と教科を T2 の後について言うように伝える。
- ③ 「何を勉強しようか？」では、時間割を見て、それぞれの曜日で勉強したいと思う方の教科を選んで、枠を色鉛筆で囲むように伝える。
- ④ ペアになり、どちらの教科を選んだのか尋ね合うように伝える。  
例 *S1: What do you study on Monday?*  
*S2: I study science on Monday.*
- ⑤ 5人程度のグループになり、それぞれの曜日について一緒に勉強する教科を決め、T1 と T2 の質問に答えるように伝える。  
例 *T1 / T2: What do you study on Monday?*  
*S: I study science on Monday.*
- ⑥ ①で読んだ吹き出しのセリフで、自分ができていたことの吹き出しを色鉛筆でなぞるように伝える。

\*④で、一緒に勉強する教科を決めるときに、スムーズに決められるように支援する。

\*T1 と T2 の質問に答えるときは、グループ全員で答えるようにするか、曜日ごとに1人ずつ答えるようにするか、実態に応じて指示を出すとうい。